



山形県議会議員

# 菊池大二郎 県政報告

謹賀新年 第1号  
発行日/令和2年1月  
発行者/菊池大二郎事務所  
住所 村山市駅西17-4  
TEL 52-5622  
FAX 55-7877

## ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

本年も市民県民の思いに寄り添いながら、しっかりと責務を果たすとともに、43名の現職県議のうち2番目の若さで新しい感覚を持って活動して参る決意です。

さて、昨年9月定例県議会において初めて、一般質問の機会を賜り、以下の大きく4項目について質問・提言いたしました。中でも、県立楯岡高校跡地について、県から村山市へ有償譲渡する旨の方針が示されました。数年来、なかなか進まなかった同校跡地利活用事業において大きな前進となりました。

今後とも、多方面において村山市の施策展開が積極的なものとなりますよう、精励に努める所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

山形県議会議員 菊池大二郎

万感の思いにて壇上へ。  
新政の息吹となる。

※来月から開催の2月定例県議会では、予算特別委員会にて質問に立ちます（日程は3月上旬予定）。是非、傍聴へお越しください。

## 県立楯岡高校 跡地利活用

**問** 村山市による県立楯岡高校跡地利活用案は、今後の廃校利活用を考える上でのモデルケースになりうる。更なる県の協力と理解が求められると考えるが今後の進め方は。

**答** 旧学校施設等の長期的な利活用に関しては県での利活用が見込めない場合、地元の市町村にその意向を確認することとしている。村山市からは建物を含めた跡地全体の譲渡要望を受けた。市の計画は、公共性の高い地域振興が目的だと認識している。譲渡し、利活用してもらうことが適当と判断した。条例に基づき譲渡価格を算定し、契約に向け市との調整を進める。

## 観光立県山形に向けた国際戦略

**問** 外国人観光客の本県宿泊数は全国及び東北全体で見ても極めて低い状況にある。外国人観光客による経済効果の向上のために、欧米豪を重点地域に位置付け、居合・侍文化等の武道によるツーリズムを開発し、新たな需要を開拓すべきと考えるがどうか。

**答** 注目市場である欧米豪から本県への宿泊者数は少ないものの伸び率は高く、日本固有の精神文化等への関心があり、本県が提供できる資源との相性が良いことから、需要拡大が期待できる。ポテンシャルを最大限に活用するため、更なる磨き上げや継続した情報発信へ関係機関と連携しながら励む。

## 有害鳥獣被害対策

**問** 村山市ではイノシシ被害が深刻。県内ではクマが多数出没し、加えてニホンジカの生息も確認されており、より実効的な対策が求められる。被害を防止するために、捕獲事業への支援策と緩衝林整備を更に一体的に進めていくことが重要だが今後の取組みは。

**答** 農作物被害額が増加しているイノシシの捕獲強化が急務であることから、わな捕獲の補助を継続するとともに、捕獲技術向上に向けた実践的な講習会を開催していく。また、捕獲許可期間延長の検討を行う。被害防止に有効な手段である緩衝林整備については、やまがた緑環境税を活用して市町村が行う整備と維持管理を支援。シカ管理計画を今年度に、イノシシについては来年度に次期計画を策定する。

## 特別支援学校再編・整備計画

**問** 楯岡特別支援学校のようにすでに小・中・高一貫で教育を享受できる拠点に、老朽化して施設維持に課題のある上山養護高等養護学校や山形盲学校を集約してはどうか。村山産業高校も隣接し今後の農福連携の実践の場になりうる。また、知的障がい特別支援学校への幼稚部設置の考え方は。

**答** 老朽化の著しい上山養護高等学校と山形盲学校については、特別支援学校校舎等整備検討委員会から提出される報告書等を十分に踏まえ、改築計画を策定する。幼稚部の設置については、全国の設置状況が知的障がい特別支援学校全体の2%程度にとどまっていること等を踏まえ、従来の巡回相談や地域教育相談窓口の設置等相談事業を通して、就学前の知的障がいのある幼児等への適切な支援を行っていく。



◎所属会派 県政クラブ

◎所属委員会（令和元年度）

商工労働観光常任委員会 広報広聴委員会  
子ども育成・若者定着支援対策特別委員会

菊池大二郎 プロフィール  
昭和57年7月 戌年生まれ 37歳  
村山市榎岡笛田（馬場地区）出身  
村山市立榎岡小・中学校卒業  
山形県立山形東高等学校卒業  
学習院大学法学部法学科卒業  
日本大学大学院法務研究科中退  
東京都港区青山にて「行政書士菊池大二郎法務事務所」設立（山形県村山市に移転）  
平成27年春 山形県議会議員選挙に立候補  
3,871票獲得するも次点  
平成27年秋 村山市議会議員選挙に立候補  
2,083票獲得しトップ当選  
平成31年春 山形県議会議員選挙に立候補  
6,746票獲得し初当選

趣味 書道、水泳、犬猫との触れあい、  
スポーツ観戦、映画鑑賞

打破しい時代だからこそ空気感を  
意識を変えていく。



### 台風19号における村山市の被災状況を訴える。

昨年10月に本県に上陸した台風19号により県内でも甚大な被害が発生。とりわけ、村山市では家屋倒壊、屋根の損害等の被害が顕著であった。被災後ただちに現場確認・情報収集を急ぐとともに、所属する県政クラブにて災害本部を立ち上げ、知事室にて吉村知事及び関係部局長へ迅速な対応を要請。



### 村山市の歴史文化財産を県内外に大いに発信。

商工労働観光常任委員会が村山市の居合道関連事業について居合振武館にて現地視察。同委員会にて、観光分野では、東京五輪関連事業、国際チャーター増便及び酒田港への大型クルーズ船来港に伴う内陸部への観光誘客等、幅広い提言を実施。商工分野では、事業承継対策、創業支援対策、外国人労働者対策、有機エレクトロニクス関連事業等について質疑・提言を実施。



### 教育負担の軽減や子どもの貧困対策が急務。

子ども育成・若者定着支援特別委員会にて教育立県である秋田県を視察。同委員会では、ひとり親家庭・子どもの貧困対策、東京五輪開催を契機とした障がい者支援、スポーツ等で若者が活躍できる環境整備等の提言を実施。今後は、保護者の送迎負担等を考慮し、JR等を巻き込んだ地域公共交通の在り方を含め、子育て・教育支援において助成対象から外れてしまう大多数の一般家庭の負担軽減策を打ち出したい。



西村山・北村山地域議員協議会。北村山振興局にて発言する様子。

### 有害鳥獣被害対策、災害時の河川管理等、対策は十分といえるか。

昨年、2回実施された地域議員協議会。特に着目したのが災害時及び災害予防のための河川管理並びに農業用ため池の改修状況等。市内の河川状況も長年手が入らず荒廃している箇所が多い。財源確保が一番の難題だが現地に足を運び、地域の皆さんの意見を伺っていききたい。



広報広聴委員会。山形大学フリーペーパーサークルY-ai!の皆さんと。

### 身近な県議会の実現へ。スマホ・タブレット端末での視聴環境の実現に向け検討開始。

広報広聴委員会初開催の場で、スマホ等で議会中継及び録画放送を視聴可能とするための整備を提言。早速、会派を越えて賛同を賜り、予算化・実現化に向け加速中。



### スピード感をもって要望活動・意見交換を積極的に実施。

村山市管内の状況と喫緊の課題について、吉村知事・若松副知事（写真上）・執行部への要望活動及び意見交換を随時実施。その他、市除雪説明会（日程の都合上、榎岡・西郷・大久保・大高根の4地区）へ参加し、他地区でのご意見も含め、速やかに県へ要望。目に見える形で、市民生活に貢献できる環境づくりや施策の展開に更に貢献して参りたい。

議会での発言は地元の元紙にも多く取り上げられた。

お読みいただき誠にありがとうございます。  
ご意見、ご要望は事務所又は菊池大二郎オフィシャルサイト (<http://kikuchi-daijiro.com/>) へお気軽にお寄せください。